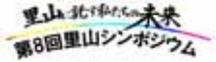


「三番瀬フィールドミュージアム in 飛ノ台」



- 三番瀬とつながる7000年前、飛ノ台貝塚と縄文人の暮らしと文化 -

・ 2011年度1回目の計画実施でした。(船橋市市民公益活動公募型支援事業と房総半島の海岸環境保全活動支援事業の助成を受けて開催しました。)

6月18日(土)~24日(金)9:00~17:00(1Fギャラリー)20日:休館日

<展 示> 東京湾・三番瀬から見える暮らし 浮世絵から見える海辺の暮らし: 浅沼市男氏所蔵(東京情報大学教授) 田村茂俊氏所蔵(房総浮世絵美術館) 写真・埋立て前の東京湾岸の暮らし(故)林辰雄撮影(千葉県立中央博物館所蔵) 写真・現在の漁師の暮らし: 安孫子亮氏撮影 オブジェ・現在の三番瀬にある貝殻島(貝殻採取: 相川貴央氏 ・写真: 渡辺優子氏・オブジェ構成: 佐藤聡子)

林辰雄氏撮影: 埋立て前の東京湾

千葉県の貝塚と干潟: 清藤一順氏

現在三番瀬にある貝殻島から・・・



6月18日(土)午後13:20~16:40(1Fギャラリー)45名余の参加者

<講演会・1> 「千葉県の貝塚と干潟」清藤一順氏(元千葉県立中央博物館・考古学)

講演から / 6000年前の縄文海進にとって房総に多くの貝塚が出現する。縄文人が食べた貝や魚、動物の骨が捨てられた場所であり、溶け出したことで酸性土壌が中和され、現在までかなりきれいな形で人骨、魚骨、獣骨が残されている。房総は貝塚の宝庫である。縄文時代も永く続いた。(要約しました) 野田、流山市、習志野市、袖ヶ浦市にも見つかっている。約87%が奥東京湾~富津岬)である。

全国	千葉県	茨城県	東京都	埼玉県	神奈川県
2344	694	404	161	123	120
船橋確認(10)	柏市(24)	松戸市(24)	市川市(17)	千葉市(62)	市原市(29)

千葉県稲毛海岸のアサリ採り浮世絵に見る海辺の暮らし

・現在の三番瀬地図

・縄文海進時の想定海岸線 6000年前の船橋南部



<講演会・2> 「浮世絵から見える海辺の暮らし」浅沼市男氏(東京情報大学教授・海洋学)

「浮世絵に描かれた海辺の暮らし」展示から、講演はさらに東京湾の海辺の暮らしにせまり、1部: 東京湾の汚染は何時から 2部: 東京湾の現在はどうでしょう 3部: 東京湾の未来 ランドサットによる海洋学から見える分析された海の水質の話は非常に興味深い。また、江戸時代からはじまる東京湾の汚染と海苔の養殖に見える海苔の色落ちまで具体例に迫り「海苔」の試食があり、実感を深めました。また、高度下水処理を続けるべきか? 海苔の養殖((色落ち)への影響、生きものへの影響などの示唆をされました。